

3-2-5 自分の生き方の点数評価

表3-1 これまでの自分の生き方に関する点数評価（平均値比較）

50 歳代 スタッフ	50 歳代 マネジャー 一職		50 歳未満 スタッフ	50 歳未満 マネジャー 一職		50 歳代スタ ッフ/過去 マネジャー 職	50 歳代ス タッフ/過 去スタッフ	
68.71	70.19	n/s	69.74	73.39	*	69.07	68.55	n/s

注) * 平均値の差が 5%水準で統計的に有意であることを指す

n/s 平均値の差が統計的に有意な水準に到達していないことを指す

表 3-1 は「これまでの自分の生き方に点数を付けるとしたら何点ですか。100 点満点でご自身を評価してください」の回答から平均値を算出し 3 つの軸で比較したものである。まず 50 歳代について見てみると、スタッフの平均値が 68.71 点、マネジャー職の平均が 70.19 点で、両者の平均値には統計的に有意な差はない。50 歳代スタッフに限定して、過去のマネジャー職経験の有無で比較すると、過去にマネジャー職を経験している者の平均値が 69.07 点、経験していない者が 68.55 点で、ここでも両者の平均値には統計的に有意な差は見られない。このように 50 歳代に関しては、現在および過去の職位とは無関係に 70 点程度の点数を自分自身につけており、特に高い点数ではないものの、「合格」水準の評価となっている。

50 歳未満のスタッフとマネジャー職については、自己評価得点の平均値差が有意水準に達している。50 歳未満のスタッフ 69.74 点、マネジャー職 73.39 点で、両者の間に 3.65 点の差があり、この差は統計的有意水準に到達している。